

かけはし

町屋幼稚園と第七峡田小学校では、同一敷地内に幼稚園・小学校が併設されている環境を生かし、園児と児童の交流を意図的・計画的に進めています。幼児と児童の交流の機会を設けたり、教職員間の連携を深めたりしながら保育・教育活動を展開することが、「就学前教育と小学校教育の円滑な接続」につながると考えています。本号では、活動の一部をご紹介します。

町屋幼稚園幼児・第七峡田小学校児童の交流

来年度1年生・6年生となる5歳児・5年生が交流を深めました。活動の前には担任同士で活動のねらいや内容を話し合いました。

「すごい！作るのが上手！」
5歳児は5年生の姿に憧れ、幼稚園に戻ってから同じように工作やブロックをやってみようとする姿が見られました。

5月「はじめましての会」

初回は互いに親しみを持てるような活動を計画しました。

5年生が考えてくれた遊びを一緒に楽しみました。



6月「ななはけミッションツアーにようこそ」

ミッションツアーの内容を幼児が楽しめるよう考えました。5歳児は前回交流したことを覚えていて、安心して参加していました。

5歳児は小学校や小学生に憧れや親しみをもつこと、5年生は幼児との関わりを通して来年度最上級生となる気持ちを高めることを大切にしています。今後もいろいろな学年の園児・児童同士の交流を計画しています。

教職員間の連携

幼稚園と小学校の教職員が相互に保育・授業を参観しました。幼稚園では遊びの中でいろいろな経験をする幼児の姿、小学校では課題に向かって主体的に学ぶ児童の姿が見られました。また、毎月の研究会では幼児や児童の学びの過程を幼稚園・小学校の教職員と一緒に話し合い、写真や文字で学びの物語を伝える「ドキュメンテーション」を製作しています。就学前教育と小学校教育それぞれのよさや特性を教職員が互いに理解することで、一層の円滑な接続を目指していきます。



今期の子どもたちの様子をお伝えいたします。

5歳児「輪つなぎを作ろう」 5歳児いるか組担任

七夕に向けて笹飾りの製作をしました。織姫や彦星、くす玉など願いを込めた飾りができました。1年生が製作した輪つなぎや切り紙の作品をななはけラボや教室で見せてもらい、「きれい！」「作ってみたい！」と刺激を受けていました。昨年度個別に製作した輪つなぎは、今年度はグループの友達と一緒に製作しました。「こうするのはどう？」「一緒につなげようよ。」と友達とやりとりをしながら作り、長い輪つなぎができました。5歳児のこの時期に2～3人の少人数の友達と考えや思いを十分に出し合う経験をする事が、小学校以降の学びにつながっていきます。



ななはけラボで1年生の真似をして切り紙作りに挑戦！

グループの友達と一緒に、思いを出しながら製作しました。



1年生「チョッキン パツでかざろう」 2組担任

図工の学習では、折り紙を使って切り紙遊びを行いました。四角や三角、丸など色々な折り方や切り方を試して、素敵な飾りを作りました。「広げたら顔みたいになったよ！」「ハートの穴が開いた！」と、活動の中でひらめきをたくさん見つけました。完成した作品はのりで貼り合わせて、つるし飾りにしました。現在は「ななはけラボ」に掲示し、幼児・児童がともに楽しんで見えています。作品作りを通して、自分の作りたい形にするにはどのように折ったり切ったりをしたらよいか、何色と何色を貼り合わせたらよいかなどを試行錯誤し、形や色のイメージを膨らませることができた学習となりました。



どことどこをのりでくっつけたらすてきかな？

ゆらゆらゆれてきれいだね！



2年生「めざせ生きものはかせ」 2組担任

4月の「めざせ野さい作り名人」の学習では、どの野菜を育てたいかを本や図鑑から主体的に調べて決めました。今も水やりをして進んで育てています。

「めざせ生きものはかせ」の学習では、ビオトープ学習をきっかけに生き物に興味、関心をもつことから始めました。一人1つの虫取り網を持ち、池や草の中にいる生き物を見て、触る活動を通して生き物に自然と触れました。「次は、カニを見つけてみたい。」「もっとほかの生き物はどこにいるのだろう。」と自分たちで学習意欲を広げています。

いけの中にカニを見つけたぞ！



なにをたべて大きくなるのかな？



幼保小接続支援員 仲田恵より

5月に植えた野菜が成長し、七夕が近くなったこの季節ならではの豊かな経験を学年ごとにさせています。グループごとに取組んだり、様々な色の折り紙を置いたり、生き物に自分から関わられるように虫取り網を用意したり、と人的・物的環境を考えてつくり、児童が自ら意欲的に取り組めるようにしています。次にどのように展開していくかが楽しみです。